

感染 01 : オリエンテーション、感染症の概念と病態

日時 : 4月8日(火) 6時限

担当者 : 中山 文子(川口市保健所) 前崎 繁文(感染症科・感染制御科)

内容 :

感染症の主だった対応や考え方を知る。ユニットの目標、学習方法(予習・復習を含む)、評価方法およびシラバスの活用方法を知る。

1. 感染症法の内容を説明できる。
2. ★E-2-1-2 感染症のアウトブレイクを説明できる。
3. 1類感染症、2類感染症、3類感染症を説明できる。
4. 感染症の届け出義務や報告義務を説明できる。
5. ★E-2-1-5 コロナイゼーションと感染症発症の違いを説明できる。
6. ★E-2-1-4 薬剤耐性(antimicrobial resistance < AMR >)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌(Methicillin-resistant Staphylococcus aureus < MRSA >)、バンコマイシン耐性腸球菌(vancomycin-resistant Enterococci < VRE >)、基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ(extended spectrum beta-lactamase < ESBL >)産生 Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等)を説明できる。
7. ★E-2-1-6 コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。
8. 院内感染のサーベランスの対象疾患を説明できる。
9. 国立感染症研究所、世界保健機構(WHO)の役割を説明できる。
10. 輸入感染症を説明できる。
11. ★E-2-1-7 新興・再興感染症(中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome < MERS >)、ジカ熱、劇症型 A 群レンサ球菌感染症等)、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

市中感染症、院内(病院)感染症、医療器具関連感染症、血管留置カテーテル、尿道カテーテル、人工呼吸器、術後感染症、手術部位感染症、コロナイゼーション、感染症発症、薬剤耐性(antimicrobial resistance < AMR >)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌(Methicillin resistant Staphylococcus aureus < MRSA >)、バンコマイシン耐性腸球菌(vancomycin-resistant Enterococci < VRE >)、基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ(extended spectrum beta-lactamase < ESBL >)産生 Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等)、コンプロマイズドホスト、日和見感染症、新興・再興感染症(中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome < MERS >)、ジカ熱、劇症型 A 群レンサ球菌感染症等)、人獣共通感染症、バイオテロ

国試出題基準 :

病原体、感染防御機構、易感染性宿主< compromised host >、感染と発症、キャリア(保菌者)、感染様式と経路、市中感染症、院内<病院>感染症、菌交代現象、菌交代症、薬剤耐性[antimicrobial resistance < AMR >]、日和見感染< opportunistic infection >、二次感染、複数菌感染、性感染症< STD、STI >、垂直感染、母子感染(子宮、産道、母乳)、輸入感染症、新興・再興感染症、人獣共通感染症、バイオテロ

教科書 :

◆ 内科学(朝倉書店)第12版 p1293-p1296

備考 :

キーワード : 感染症法、1類感染症、2類感染症、3類感染症、届け出感染症、アウトブレイク、サーベイランス、保健所、国立感染症研究所、世界保健機構(WHO)、新興・再興感染症

予習 :

キーワードについて調べる(30分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる(30分)

感染 02 : 小児ウイルス感染症 1

日時 : 4 月 17 日 (木) 2 時限

担当者 : 盛田 英司(小児科)

内容 :

小児関連ウイルス感染症を知る (1)

1. 麻疹, 風疹, 突発性発疹, 伝染性紅斑, 単純ヘルペスウイルス感染症の病態, 臨床症状, 診断および治療を説明できる。
2. 水痘・带状疱疹, 流行性耳下腺炎, エンテロウイルス感染症の病態, 臨床症状, 診断および治療を説明できる。
3. アデノウイルス感染症の病態, 臨床症状, 診断および治療を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

発疹性ウイルス疾患, 予防接種, SSPE, 先天風疹症候群, HHV-6 HHV-7, ヒトパルボウイルス B19, 水疱性ウイルス疾患, 日和見感染 ポリオ, 手足口病, ヘルパンギーナ, 咽頭結膜熱

教科書 :

◆ 小児科学(文光堂)第 10 版 p568-p590

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 03 : 小児ウイルス感染症 2

日時 : 4 月 17 日 (木) 3 時限

担当者 : 盛田 英司(小児科)

内容 :

小児関連ウイルス感染症および関連する非定型感染症を知る (2)

1. インフルエンザ, RS ウイルス感染症, ロタウイルス感染症の病態, 臨床症状, 診断および治療を説明できる。
2. サイトメガロウイルス感染症, EB ウイルス感染症の病態, 臨床症状, 診断および治療を説明できる。
3. マイコプラズマ感染症, クラミジア感染症の病態, 臨床症状, 診断および治療を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

インフルエンザ, RS ウイルス感染症, ロタウイルス感染症, サイトメガロウイルス感染症, EB ウイルス感染症, マイコプラズマ感染症, クラミジア感染症, 急性細気管支炎, 母子感染, 日和見感染, 性感染症, 異型肺炎

教科書 :

◆ 小児科学(文光堂)第 10 版 p568-p590

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 04 : ウイルス感染症 3

日時 : 4 月 18 日 (金) 2 時限

担当者 : 川村 隆之(総セ 感染症科・感染制御科)

内容 :

ウイルス感染症を知る (特に白血病、消化器系、髄膜炎・脳炎、プリオン)

1. 伝染性軟属腫を説明できる。
2. ★E-2-4-1-9 ヒト T 細胞白血病ウイルス(human T-cell leukemia virus type 1 < HTLV-I >)感染症を説明できる。
3. ウイルス性肝炎を説明できる。
4. ウイルス性髄膜炎、日本脳炎を説明できる。
5. ウイルス性下痢症、ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症を説明できる。
6. ★E-2-4-1-10 プリオン病を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

ヒト T 細胞白血病ウイルス(human T-cell leukemia virus type 1 < HTLV-I >)感染症

国試出題基準 :

伝染性軟属腫、後天性免疫不全症候群< AIDS >、ヒト T 細胞白血病ウイルス< HTLV-I >感染症、ウイルス性肝炎、ウイルス性髄膜炎、日本脳炎、ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症、ウイルス性下痢症、プリオン病、Creutzfeldt-Jakob 病、ウシ海綿状脳症< BSE、狂牛病>

教科書 :

◆ 内科学 (朝倉書店) 第 11 版 p309-p345

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 05 : 感染症に関連する主要な症候

日時 : 4 月 18 日 (金) 3 時限

担当者 : 関 雅文(国セ 感染症科)

内容 :

発熱を中心に感染症で注意すべき症候と鑑別法を知る。

1. ★E-2-3-1 ~23 感染症発症時に特有の症状、徴候を列挙し、特徴的な感染症、病態を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

ショック、発熱、けいれん、意識障害・失神、発疹、リンパ節腫脹、胸水・胸部圧迫感、呼吸困難・息切れ、咳・痰、血痰・咯血、頭痛・頭重感、腹痛、悪心、嘔吐、便秘・下痢・血便、血尿・タンパク尿、関節痛、関節腫脹

教科書 :

◆ 内科診断学 (医学書院) 第 3 版 p212-p852

◆ 内科学 (朝倉書店) 第 12 版 p1283-p1296

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 06 : 細菌感染症 1 (グラム陽性菌)

日時 : 4 月 21 日 (月) 3 時限

担当者 : 戸叶 美枝子(感染症科・感染制御科)

内容 :

細菌感染症の主な原因菌と病態を知る (グラム陽性菌関連)。

1. ★E-2-4-2-2 A 群 β 溶血性レンサ球菌感染症の症候、診断および治療を説明できる。
2. ★E-2-4-2-3 肺炎球菌感染症の症候、診断および治療を説明できる。
3. 表皮ブドウ球菌感染症の症候、診断および治療を説明できる。
4. ★E-2-4-2-1 黄色ブドウ球菌感染症の症候、診断および治療を説明できる。
5. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 < MRSA > 感染症について症候、診断および治療を説明できる。
6. 腸球菌感染症の症候、診断および治療を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

A 群 β 溶血性レンサ球菌感染症、肺炎球菌感染症、黄色ブドウ球菌感染症 (MRSA を含む)

国試出題基準 :

連鎖球菌感染症、腸球菌感染症、肺炎球菌感染症、黄色ブドウ球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 < MRSA > 感染症、トキシックショック、表皮ブドウ球菌感染症

教科書 :

◆ 内科学 (朝倉書店) 第 12 版 p314-p327

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 07 : 感染症の診断・予防

日時 : 4 月 24 日 (木) 4 時限

担当者 : 光武 耕太郎(国セ 感染症科)

内容 :

各種検査法、感染制御の考え方、予防接種について知る。

1. ★E-2-2-1 各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見を説明できる。
2. ★E-2-2-2 ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査を説明できる。
3. ★E-2-2-3 細菌感染症診断における直接塗抹、Gram 染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。
4. ★E-2-2-4 真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。
5. ★E-2-4-5-1 標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策 (飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等) が必要となる病原微生物を説明できる。
6. ★E-2-4-5-2 患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を説明できる。
7. ★E-2-4-5-3 医療従事者の体液曝露後の感染予防策を説明できる。
8. ★E-2-2-7 予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。
9. ★E-2-2-8 感染症法を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

各病原微生物、各感染臓器、病歴、身体所見、ウイルス感染症診断、抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査、細菌感染症診断、直接塗抹、Gram 染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査、真菌感染症診断、標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策 (飛沫感染予

防策、接触感染予防策や空気感染予防策等)、病原微生物、病原微生物曝露、個人防護具、予防接種、医療従事者、体液曝露後、感染予防策、予防接種、投与方法、感染症法

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第11版 p213-p227

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）

感染08：結核感染症

日時：5月19日（月） 5時限

担当者：戸叶 美枝子（感染症科・感染制御科）

内容：

1. ★E-2-4-2-8 結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療および予防法を説明できる。
2. Hansen 病を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症

国試出題基準：

結核、非結核性＜非定型＞抗酸菌症、Hansen 病

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第12版 p1354-p1357

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）

感染09：細菌感染症2（グラム陰性菌1）

日時：5月20日（火） 1時限

担当者：樽本 憲人（感染症科・感染制御科）

内容：

細菌感染症の主な原因菌と病態を知る（グラム陰性菌関連1）。

1. グラム陰性菌感染症の概要、検査について説明できる。
2. ★E-2-4-2-6 大腸菌感染症の症候、診断および治療を説明できる。
3. クレブシエラ感染症、セラチア感染症について説明できる。
4. 薬剤耐性菌感染症の診断、治療について説明できる。
5. ★E-2-4-2-5 緑膿菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。
6. アシネトバクターを含む、その他の非発酵グラム陰性桿菌感染症について説明できる。
7. バクテロイデス属菌などの嫌気性グラム陰性菌感染症について説明できる。

キーワード：

ユニット：

感染

★コアカリ：

大腸菌感染症、緑膿菌感染症、レジオネラ感染症

国試出題基準：

大腸菌感染症、クレブシエラ感染症、セラチア感染症、緑膿菌感染症、アシネトバクター感染症、バクテロイデス感染症

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第12版 p1320-p1354

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）

感染10：細菌感染症3（グラム陰性菌2）

日時：5月20日（火） 2時限

担当者：樽本 憲人（感染症科・感染制御科）

内容：

細菌感染症の主な原因菌と病態を知る（グラム陰性菌関連2）。

1. ★E-2-4-2-11 レジオネラ感染症を説明できる。
2. ★E-2-4-2-4 インフルエンザ（桿）菌感染症と *Moraxella catarrhalis* 感染症を説明できる。
3. 百日咳について説明できる。
4. 髄膜炎菌感染症を説明できる。
5. ★E-2-4-2-13 カンピロバクター、サルモネラ感染症を説明できる。
6. 腸管出血性大腸菌感染症、細菌性赤痢感染症、腸炎ビブリオ感染症、コレラについて説明できる。
7. ヘリコバクター・ピロリ感染症について説明できる。

キーワード：

ユニット：

感染

★コアカリ：

インフルエンザ（桿）菌感染症、*Moraxella catarrhalis* 感染症、カンピロバクター、サルモネラ

国試出題基準：

レジオネラ感染症、インフルエンザ{桿}菌感染症、モラクセラ・カタラリス感染症、百日咳、髄膜炎菌感染症、サルモネラ感染症、細菌性赤痢、腸炎ビブリオ感染症、コレラ、ヘリコバクター・ピロリ感染症

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第12版 p1320-p1354

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）

感染11：ウイルス感染症1

日時：5月22日（木） 4時限

担当者：岡 秀昭（総セ 総合診療内科）

内容：

主な成人のウイルス感染症と病態を知る（呼吸器関連、麻疹、風疹）。

1. ★E-2-4-1-1 インフルエンザの症候と診断および治療を説明できる。
2. RSウイルス感染症の症候と診断および治療を説明できる。
3. ★E-2-4-1-5 流行性耳下腺炎（ムンプス）の症候、診断、合併症および予防法を説明できる。
4. ★E-2-4-1-2 麻疹の症候、診断、合併症および予防法を説明できる。

5. ★E-2-4-1-3 風疹の症候、診断、合併症および予防法を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

インフルエンザ、流行性耳下腺炎（ムンプス）、合併症、予防法、麻疹、風疹

国試出題基準：

インフルエンザ、RS ウイルス感染症、流行性耳下腺炎＜ムンプス＞、麻疹、風疹

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第 11 版 p309-p345

予習：

キーワードについて調べる（30 分）

復習：

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる（30 分）

感染 12：ウイルス感染症 2

日時：5 月 22 日（木） 5 時限

担当者：岡 秀昭（総セ 総合診療内科）

内容：

主な成人のウイルス感染症と病態を知る（ヘルペス系、その他）。

1. ★E-2-4-1-7 単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核(球)症を説明できる。
2. ★E-2-4-1-4 水痘・带状疱疹の症候、診断、治療および予防法を説明できる。
3. ★E-2-4-1-8 サイトメガロウイルス＜CMV＞感染症を説明できる。
4. 性灰白髄炎＜ポリオ＞の症候、診断、治療および予防法を説明できる。
5. コクサッキーウイルス感染症、エコー＜ECHO＞ウイルス感染症を説明できる。
6. アデノウイルス感染症を説明できる。
7. Epstein-Barr ＜EB＞ウイルス感染症を説明できる。
8. パルボウイルス B19 感染症を説明できる。
9. 蚊が媒介するウイルス感染症を列挙し、特徴を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核(球)症、水痘・带状疱疹、サイトメガロウイルス＜CMV＞感染症

国試出題基準：

突発性発疹、急性灰白髄炎＜ポリオ＞、コクサッキーウイルス感染症、エコー＜ECHO＞ウイルス感染症、ヘルパンギーナ、手足口病、急性出血性結膜炎、アデノウイルス感染症、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、単純ヘルペスウイルス感染症、水痘・带状疱疹、Epstein-Barr ＜EB＞ウイルス感染症、パルボウイルス B19 感染症、伝染性紅斑、サイトメガロウイルス感染症、デング熱、ジカウイルス感染症、エボラ出血熱

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第 11 版 p309-p345

予習：

キーワードについて調べる（30 分）

復習：

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる（30 分）

感染 13 : 小児感染症総論

日時 : 5 月 23 日 (金) 2 時限

担当者 : 古市 美穂子(埼玉県立小児医療センター)

内容 :

小児感染症の主な病態を知る : 小児特有の年齢変化や免疫反応を含む

1. 小児感染症の特徴を説明できる。
2. 小児感染症の主要原因微生物と病原診断を説明できる。
3. 小児感染症と年齢の関連を説明できる。
4. 学校感染症を説明できる
5. 予防接種を説明できる

キーワード :

★コアカリ :

感染と発症、感染経路、好中球、免疫グロブリン、中和抗体、細胞内寄生細菌、子宮内および産道感染、母乳感染、新生児期感染症、免疫不全と感染症、学校感染症、ワクチン

教科書 :

◆ 小児科学(文光堂)第 10 版 p556-p566

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 14 : 小児細菌感染症 1

日時 : 5 月 23 日 (金) 3 時限

担当者 : 古市 美穂子(埼玉県立小児医療センター)

内容 :

小児における特有の細菌感染症を知る。

1. 原因菌別の小児細菌感染症を説明できる。
2. 小児における各細菌感染症の特徴を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

レンサ球菌 (A 群, B 群), 肺炎球菌, ブドウ球菌, ジフテリア菌, 髄膜炎菌, モラクセラ・カタラーリス, 百日咳菌, インフルエンザ菌, 大腸菌, サルモネラ, 赤痢菌, カンピロバクター, 緑膿菌

教科書 :

◆ 小児科学(文光堂)第 10 版 p592-p616

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 15 : 抗菌薬による治療

日時 : 5 月 26 日 (月) 1 時限

担当者 : 関 雅文(国セ 感染症科)

内容 :

抗菌薬使用 : 治療と耐性菌抑制の両立を知る。

1. ★E-2-2-5 病原微生物および感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。

2. ★E-2-2-6 抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship < AMS >)を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

病原微生物、感染臓器、抗微生物薬、抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship < AMS >)、PK/PD、組織移行

国試出題基準：

抗菌薬、感受性試験、抗菌スペクトル

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第12版 p288-p291

参考書：

◆ ウイルス・細菌：標準微生物学（医学書院）第14版（2021年）

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）

感染16：性感染症・HIV感染症

日時：5月28日（水） 3時限

担当者：塚田 訓久（総セ 感染症科・感染制御科）

内容：

HIV感染症および関連する日和見感染症の他、梅毒など性感染症を知る。

1. ★E-2-4-4-1 性感染症の原因微生物を説明できる。
2. ★E-2-4-4-2 梅毒の症候、診断および治療を説明できる。
3. ★E-2-4-4-3 淋菌感染症の症候、診断および治療を説明できる。
4. ★E-2-4-4-4 性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの症候、診断および治療を説明できる。
5. ヒトパピローマウイルス< HPV >感染症の症候、診断、治療および予防を説明できる。
6. ★E-2-4-1-6 ヒト免疫不全ウイルス< HIV >感染症の症候、診断、治療および感染対策を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

性感染症、原因微生物、梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、ヒト免疫不全ウイルス< HIV >感染症

国試出題基準：

梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、ヒトパピローマウイルス< HPV >感染症、尖圭コンジローマ、尋常性疣贅、子宮頸癌、HIV感染症

教科書：

◆ 内科学（朝倉書店）第12版 p401-p405

参考書：

◆ ウイルス・細菌：標準微生物学（医学書院）第14版（2021年）

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）

感染 17 : クラミジア, マイコプラズマ, リケッチア

日時 : 5 月 30 日 (金) 4 時限

担当者 : 三村 一行(総セ 総合診療内科)

内容 :

非定型菌 : クラミジア、マイコプラズマ、リケッチを知る。

1. オウム病の症候、診断法および治療法を説明できる。
2. ★E-2-4-2-9 マイコプラズマ感染症の症候、診断法および治療法を説明できる。
3. ★E-2-4-2-10 クラミジア感染症の症候、診断法および治療法を説明できる。
4. ★E-2-4-2-12 リケッチア感染症の症候、診断法および治療法を説明できる。
5. Q 熱の症候、診断法および治療法を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

クラミジア感染症、マイコプラズマ感染症、リケッチア感染症

国試出題基準 :

オウム病、クラミジア肺炎、クラミジア結膜炎<トラコーマ>、マイコプラズマ肺炎、ツツガ虫病、Q 熱

教科書 :

◆ 新臨床内科学 (医学書院) 第 10 版 p1591-p1600

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 18 : 真菌・寄生虫感染症

日時 : 6 月 2 日 (月) 2 時限

担当者 : 小野 大輔(総セ 感染症科・感染制御科)

内容 :

主な真菌、寄生虫症を知る。

1. E-2-4-3-1 カンジダ症、クリプトコックス症、アスペルギルス症の症候、診断および治療を説明できる。
2. ★E-2-4-3-2 ニューモシスチス肺炎の症候、診断および治療を説明できる。
3. ★E-2-4-3-4 主な原虫感染症 (マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢) を説明できる。
4. ★E-2-4-3-3 主な寄生虫感染症 (回虫症、アニサキス症、吸虫症) を説明できる。

キーワード :

★コアカリ :

カンジダ症、クリプトコックス症、アスペルギルス症、ニューモシスチス肺炎、原虫感染症 (マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢)、寄生虫感染症 (回虫症、アニサキス症、吸虫症)

国試出題基準 :

カンジダ症、クリプトコックス症、アスペルギルス症、白癬、癩風、スポロトリコーシス、ニューモシスチス肺炎、アメーバ赤痢、輸入感染症、マラリア、トキソプラズマ症、回虫症、アニサキス症、吸虫症、クリプトスポリジウム症、人獣共通感染症、トリコモナス症、ジアルジア症、ランブル鞭毛虫

教科書 :

◆ 内科学 (朝倉書店) 第 12 版 p1357-p1367, p1416-433

予習 :

キーワードについて調べる (30 分)

復習 :

講義内容を A4 1 ページ以内でまとめる (30 分)

感染 19：小児細菌感染症 2

日時：6月25日（水） 5時限

担当者：古市 美穂子(埼玉県立小児医療センター)

内容：

小児における抗菌薬治療の考え方を知る（1：前編）

1. 抗酸菌による小児感染症を説明できる。
2. 嫌気性菌による小児感染症を説明できる。
3. 小児の抗菌薬治療の問題点を説明できる。
4. 新生児感染症の特徴を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

結核，破傷風，バクテロイデス，嫌気性菌，抗菌薬，副作用，新生児感染症，母子感染

教科書：

◆ 小児科学(文光堂)第10版 p592-p616

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）

感染 20：小児細菌感染症 3

日時：6月25日（水） 6時限

担当者：古市 美穂子(埼玉県立小児医療センター)

内容：

1. 抗酸菌による小児感染症を説明できる。
2. 嫌気性菌による小児感染症を説明できる。
3. 小児の抗菌薬治療の問題点を説明できる。
4. 新生児感染症の特徴を説明できる。

キーワード：

★コアカリ：

結核，破傷風，バクテロイデス，嫌気性菌，抗菌薬，副作用，新生児感染症，母子感染

教科書：

◆ 小児科学(文光堂)第10版 p592-p616

予習：

キーワードについて調べる（30分）

復習：

講義内容をA4 1ページ以内でまとめる（30分）